



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年1月27日

上場会社名 SBIライフリビング株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8998 URL <http://www.sbi-lifeliving.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 志保 (TEL) 03-5456-8666  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 圖子田 健 配当支払開始予定日 —  
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有（金融機関、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,966	△13.6	306	△24.5	230	△24.3	96	△46.6
23年3月期第3四半期	3,432	42.0	406	948.8	304	—	180	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 97百万円 (△41.0%) 23年3月期第3四半期 164百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	3,851.82	—
23年3月期第3四半期	7,217.55	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,496	2,246	29.9
23年3月期	8,204	2,149	26.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 2,238百万円 23年3月期 2,141百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,300	△2.5	530	△18.0	420	△18.8	300	△22.6	12,018.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	24,962株	23年3月期	24,962株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	ー株	23年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	24,962株	23年3月期3Q	24,962株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しております。

当社グループが属する住宅不動産市場は、東日本大震災の影響による販売活動の抑制等による一時的な冷え込みはありましたが、株式会社不動産経済研究所「首都圏マンション市場動向-2011年のまとめ」(平成24年1月発表)によると、東日本大震災の影響はあるものの前年並みの供給との市場動向を示しており、首都圏エリアにおけるマンション市場は回復傾向にあります。

一方、国内のインターネットを介した消費者向けEC市場は、経済産業省「平成22年度電子商取引に関する市場調査」によると、2010年の市場規模は7.8兆円であり、前年比16.3%増となっております。国内のインターネット広告市場においても、電通「2010年日本の広告費」(平成23年2月発表)によると7,747億円、前年比9.6%増と推定され、各市場とも拡大傾向にあります。

このような環境の下、当社グループは、不動産関連事業及び建築関連事業において、完成物件の売却、建築の請負、不動産仲介や企画設計の受注等を行ってまいりました。また、不動産関連事業においては、当第3四半期会計期間より当連結会計年度において販売を予定している9プロジェクトの販売活動を本格化し、平成24年1月27日現在、契約締結済みのプロジェクトは3件と前年同様順調に進捗しております。

一方、インターネットメディア事業は、「チケット流通センター」において、東日本大震災の影響による一時的な興行イベントの公演中止や延期が大量に発生した結果、当該サイトにおけるチケットの取扱高が急減しましたが、興行イベント数は、ほぼ通常の状態に戻つつあります。さらに12月においては、過去最高の取扱高を記録することができました。主要6サイトにおける総取引件数は、当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)において約33万件、平成23年12月度の月間総ユニーク・ユーザー数は約260万人、月間総ページビューは約4,400万ページビューとなっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,966百万円(前年同期比13.6%減少)、営業利益は306百万円(前年同期比24.5%減少)、経常利益は230百万円(前年同期比24.3%減少)となっております。四半期純利益は、繰延税金資産の一部取り崩しにより法人税等調整額が131百万円発生し、96百万円(前年同期比46.6%減少)を計上しております。

(注) 主要6サイトとは、「生活ガイド.com」、「SBI不動産ガイド」、「引越し達人セレクト」、「ALL格安航空券比較」、「チケット流通センター」、「ムスビー」。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (不動産関連事業)

当事業部門におきましては、当社グループの主力商品である「Branche」の決算期越えの物件売却、企画設計の受注等があったものの、収益構成上の比重が大きい「Branche」シリーズの売却が第4四半期連結会計期間に集中しているため、同事業部門全体の売上高は780百万円(前年同期比17.0%増加)、営業損失は4百万円(前年同期比6百万円悪化)となりました。

#### (建築関連事業)

当事業部門におきましては、子会社SBIプランナーズ(株)において、東海地区を中心に地主や富裕層にアプローチした受注活動を行ってまいりました。しかしながら、東海地区における不動産市況は未だ本格的な回復をしておらず、受注の減少や小規模化等により、同事業部門全体の売上高は965百万円(前年同期比40.3%減少)、営業損失は57百万円(前年同期比79百万円悪化)となりました。

#### (インターネットメディア事業)

当事業部門におきましては、東日本大震災による一時的な懸念はありましたが、12月単月ベースの収益が過去最高益を更新し、収益は前年並みまで回復しております。その結果、同事業部門全体の売上高は1,224百万円(前年同期比6.4%増加)、営業利益は550百万円(前年同期比0.2%増加)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,496百万円（前連結会計年度末比708百万円減少）、負債は5,249百万円（前連結会計年度末比805百万円減少）、純資産は2,246百万円（前連結会計年度末比97百万円増加）となりました。資産の主な内訳は、インターネットメディア事業における未収入金、販売用不動産及び仕掛不動産等のたな卸資産、販売用不動産から所有目的を変更した固定資産等、SBIホールディングス（株）からの事業の一部譲受けで発生したのれんであります。負債の主な内訳は、不動産関連事業における開発用地取得等に伴う借入金及び社債であります。純資産につきましては、当第3四半期純利益の計上により利益剰余金が増加しております。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローが1,472百万円の減少、投資活動によるキャッシュ・フローが26百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローが280百万円の減少となっております。これにより当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、1,194百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に不動産関連事業における支払債務に係る支出及びたな卸資産の増加、並びに建築関連事業に係る営業未払金等の支出により、1,472百万円の減少となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、主にインターネットメディア事業におけるシステム投資等により、26百万円の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入があったものの、主に金融機関等への短期借入金の返済及び社債の約定償還等により、280百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月26日に開示しております「平成23年3月期決算短信」の連結業績予想から変更はございません。詳細につきましては、「平成23年3月期決算短信」P.3 1. 経営成績（1）経営成績に関する分析（次期の見通し）をご参照願います。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,974,965	1,194,492
営業未収入金	603,063	189,174
未収入金	173,548	1,153,789
販売用不動産	509,015	406,011
仕掛不動産等	798,518	1,202,950
その他のたな卸資産	3,985	3,330
その他	74,672	48,662
貸倒引当金	△2,685	△3,840
流動資産合計	5,135,083	4,194,572
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	980,789	955,420
土地	765,045	1,299,157
その他(純額)	12,992	12,900
有形固定資産合計	1,758,827	2,267,477
無形固定資産		
のれん	898,057	861,151
その他	68,362	61,740
無形固定資産合計	966,419	922,891
投資その他の資産		
その他	345,764	113,097
貸倒引当金	△2,034	△2,034
投資その他の資産合計	343,730	111,063
固定資産合計	3,068,977	3,301,433
資産合計	8,204,061	7,496,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	484,545	105,450
営業未払金	819,019	349,826
短期借入金	3,676,162	3,117,000
1年内返済予定の長期借入金	—	69,960
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
預り金	182,748	511,217
その他	223,377	220,639
流動負債合計	5,445,852	4,434,093
固定負債		
社債	540,000	480,000
長期借入金	—	268,380
完成工事補償引当金	11,533	11,617
製品保証引当金	2,083	962
資産除去債務	20,237	20,518
その他	34,573	33,503
固定負債合計	608,426	814,980
負債合計	6,054,279	5,249,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	491,300	491,300
資本剰余金	1,190,914	1,190,914
利益剰余金	473,925	570,074
株主資本合計	2,156,140	2,252,289
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△14,685	△13,685
その他の包括利益累計額合計	△14,685	△13,685
新株予約権	8,328	8,328
純資産合計	2,149,782	2,246,931
負債純資産合計	8,204,061	7,496,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	3,432,592	2,966,342
売上原価	1,923,132	1,494,153
売上総利益	1,509,460	1,472,189
販売費及び一般管理費	1,103,210	1,165,579
営業利益	406,249	306,610
営業外収益		
受取利息	403	911
還付加算金	1,030	—
その他	416	182
営業外収益合計	1,850	1,094
営業外費用		
支払利息	83,423	77,077
社債発行費	18,665	—
その他	1,481	2
営業外費用合計	103,570	77,080
経常利益	304,529	230,624
特別利益		
固定資産売却益	1,561	—
特別利益合計	1,561	—
特別損失		
固定資産除却損	2,459	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,228	—
特別損失合計	8,687	—
税金等調整前四半期純利益	297,403	230,624
法人税、住民税及び事業税	1,826	2,746
法人税等調整額	115,413	131,729
法人税等合計	117,239	134,475
少数株主損益調整前四半期純利益	180,164	96,149
四半期純利益	180,164	96,149

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180,164	96,149
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△15,513	1,000
その他の包括利益合計	△15,513	1,000
四半期包括利益	164,650	97,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	164,650	97,149

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	297,403	230,624
減価償却費	51,574	51,955
のれん償却額	36,906	36,906
引当金の増減額(△は減少)	2,064	118
社債発行費	18,665	—
受取利息及び受取配当金	△404	△912
支払利息	83,423	77,077
固定資産売却損益(△は益)	△1,561	—
固定資産除却損	2,459	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,228	—
売上債権の増減額(△は増加)	△250,131	413,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△232,711	△840,186
仕入債務の増減額(△は減少)	△500,777	△848,288
前受金の増減額(△は減少)	△14,545	31,412
その他	△109,516	△734,291
小計	△610,922	△1,581,695
利息及び配当金の受取額	11,532	159,894
利息の支払額	△35,182	△48,312
法人税等の支払額	△2,370	△2,644
法人税等の還付額	58,054	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△578,889	△1,472,757
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△105,396	△5,917
無形固定資産の取得による支出	△11,707	△15,530
差入保証金の差入による支出	△8,210	△866
差入保証金の回収による収入	6,676	1,020
貸付金の回収による収入	40,960	—
長期前払費用の取得による支出	—	△5,599
その他	1,702	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,974	△26,894
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△269,037	△559,162
長期借入れによる収入	—	350,000
長期借入金の返済による支出	—	△11,660
社債の発行による収入	581,334	—
社債の償還による支出	—	△60,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	312,297	△280,822
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342,567	△1,780,473
現金及び現金同等物の期首残高	2,484,656	2,974,965
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,142,089	1,194,492

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 関連事業	建築 関連事業	インターネット メディア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	663,946	1,618,087	1,150,558	3,432,592	—	3,432,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,500	—	—	3,500	△3,500	—
計	667,446	1,618,087	1,150,558	3,436,092	△3,500	3,432,592
セグメント利益	1,915	21,715	549,127	572,757	△166,508	406,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△166,508千円には、セグメント間取引消去4,082千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△170,590千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 関連事業	建築 関連事業	インターネット メディア事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	780,768	961,252	1,224,322	2,966,342	—	2,966,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,247	90	4,337	△4,337	—
計	780,768	965,500	1,224,412	2,970,680	△4,337	2,966,342
セグメント利益又は損失 (△)	△4,379	△57,591	550,220	488,249	△181,638	306,610

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△181,638千円には、セグメント間取引消去495千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,134千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。
  
- (7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。